

2017年3月期 決算補足資料

- | | |
|------------------------|-------|
| 1. 決算概観 | P.1 |
| 2. 業績のポイント(対前年) | P.2 |
| 3. 業績の状況 | P.3 |
| 4. 主要製品の売上状況 | P.4 |
| 5. 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況 | P.5 |
| 6. 開発品一覧 | P.6～8 |

【参考資料】

- | | |
|---------------------|---------|
| 7. セグメント情報 | P.10 |
| 8. 損益計算書の概要 | P.11～12 |
| 9. 貸借対照表の概要 | P.13 |
| 10. 主な業績項目の推移 | P.14 |
| 11. 2018年3月期 連結業績予想 | P.15 |
| 12. 杏林製薬(単体)資料 | P.16～19 |

2017年5月11日

キョーリン製薬ホールディングス株式会社

本資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり、将来の業績に影響を与える不確実な要因やリスクが含まれています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。



2017年3月期 決算概観

(単位:百万円)	14年3月期	15年3月期	16年3月期	17年3月期	前年比	18年3月期 (予想)	前年比
売上高	111,400	113,121	119,483	115,373	-3.4%	113,400	-1.7%
営業利益	17,607	14,737	19,636	10,413	-47.0%	12,100	+16.2%
経常利益	18,281	15,490	19,995	10,874	-45.6%	12,600	+15.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,025	12,064	13,639	7,305	-46.4%	9,700	+32.8%
1株当たり当期純利益(円)	160.95円	161.63円	184.28円	99.45円	-46.0%	131.94円	+32.7%
総資産	169,378	183,383	197,825	192,668	-2.6%	—	—
純資産	137,821	148,600	157,049	157,837	+0.5%	—	—

2017年3月期 連結業績(実績)

【売上高】 主力製品の拡大、新製品の発売もありましたが、薬価改定の影響、長期収載品の処方数量減、主力製品の後発品発売により国内新医薬品の売り上げは減少しました。一方、モンテルカストのオーソライズド・ジェネリック発売等により後発医薬品の売り上げは増加し、国内における医療用医薬品事業の売り上げは前年を上回る実績で推移しました。他方、海外新医薬品では、前年度に計上した導出品(FPR2作動薬プログラム)一時金収入の反動減を要因として売り上げは減少し、全体の売上高は1,153億73百万円(前年比3.4%減)と減収になりました。

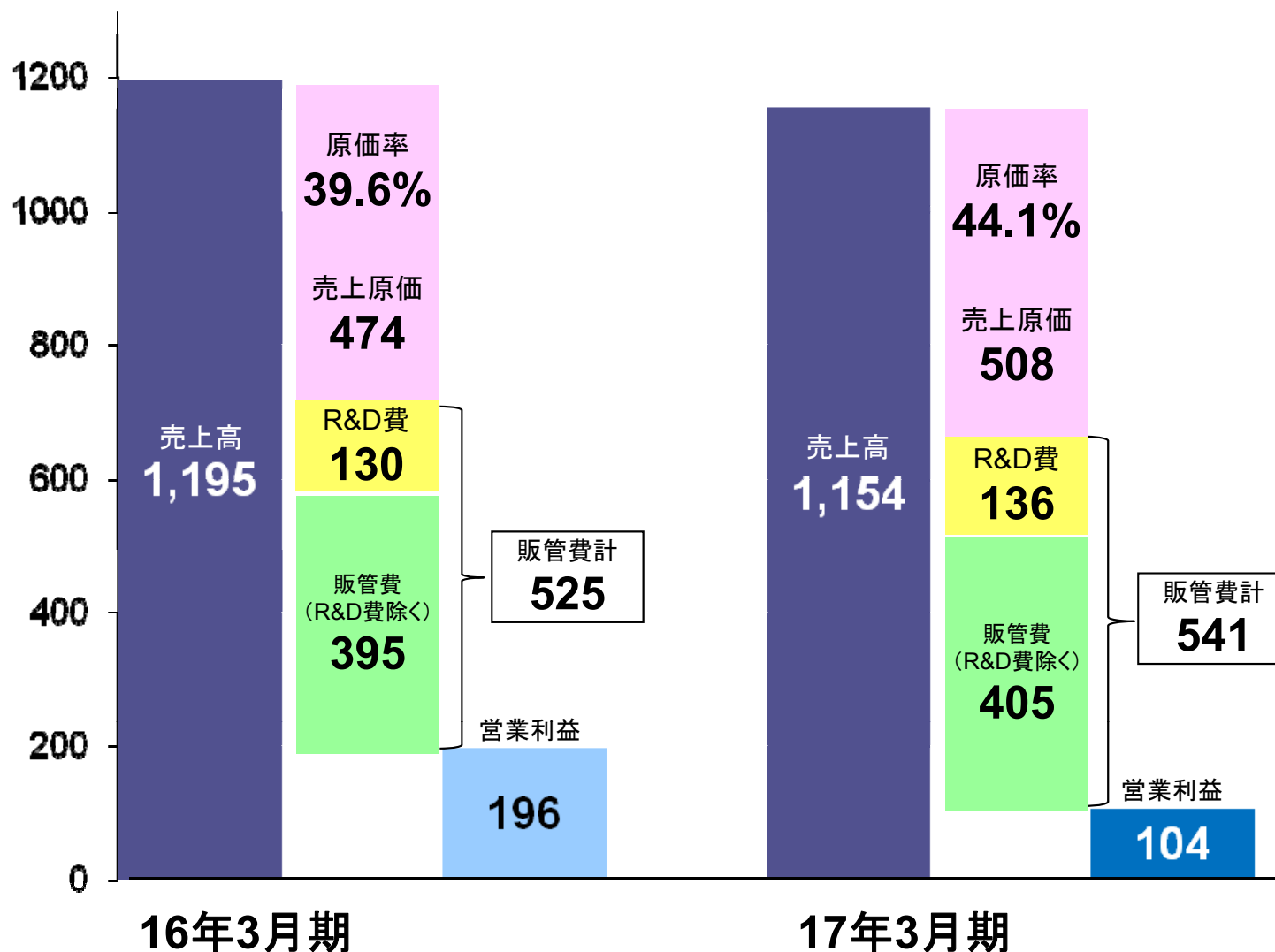
【利益】 薬価改定及び導出品一時金収入の反動減等により売上総利益は前年比75億95百万円減となりました。また、販売費及び一般管理費が16億27百万円増加(内、研究開発費5億49百万円増)し、営業利益は104億13百万円(前年比47.0%減)と減益になりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、導出品(ガチフロキサシン点眼液)に関する米国反トラスト法違反を理由とした訴訟の和解関連費用約10億円を特別損失として計上したことから73億05百万円(前年比46.4%減)となりました。

2018年3月期 連結業績(予想)

【売上高・利益】 売上高では、新医薬品の売り上げは前年度を下回る見通しですが、後発医薬品及びヘルスケア事業の売り上げが前年度を上回る見通しで、全体としては微減収を見込みます。利益面では、導出品に関わる一時金収入の増加を主因として、増益を見込みます。18年3月期の業績としては、売上高1,134億円(前年比1.7%減)、営業利益121億円(前年比16.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益97億円(前年比32.8%増)を予想します。

2017年3月期 業績のポイント(対前年)

(単位: 億円)



【ポイント】

- **売上高は前年比41億円減**
 - ・新医薬品(国内、海外)の売り上げ減
 - ・後発医薬品の売り上げ増
- **売上原価率は4.5%上昇**
 - ・薬価改定の影響
 - ・導出品一時金収入の反動減
- **売上総利益は前年比76億円減**
- **販管費は前年比16億円増**
 - ・R&D費は6億円増
 - ・販管費(R&D費除く)は10億円増
- **営業利益は前年比92億円減**

2017年3月期 業績の状況

(単位:億円)

	16年3月期	17年3月期	対前年
売上高	1,195	1,154	-41
医療用医薬品事業	1,140	1,096	-44
◆新医薬品	985	845	-140
○国内	929	838	-91
○海外	56	8	-48
◆後発医薬品	155	250	+95
ヘルスケア事業	55	58	+3
営業利益	196	104	-92
経常利益	200	109	-91
親会社株主に帰属する 当期純利益	136	73	-63

■配当

58円00銭/株(うち、中間配当20円/株)、配当性向59.3%

※2017年3月期 第1四半期連結累計期間より、当社グループは報告セグメントの区分を変更しております。変更後の「医療用医薬品事業」の内容は新医薬品、後発医薬品、「ヘルスケア事業」はスキンケア・環境衛生・一般用医薬品他で構成しています。また、前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

		(対前年)	(対予想) 17年2月3日発表																																										
■売上高	1,154億円	(-41)	(+4)																																										
◆医療用医薬品事業	1,096億円	(-44)	(+5)																																										
●国内新医薬品	838億円	(-91)	(-2)																																										
	<table border="0"> <tr> <td></td> <td>16.3実績</td> <td>⇒</td> <td>17.3実績</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・フルティフォーム</td> <td>72</td> <td>⇒</td> <td>101</td> <td>(+29)</td> <td>(0)</td> </tr> <tr> <td>・ウリトス</td> <td>75</td> <td>⇒</td> <td>75</td> <td>(0)</td> <td>(-1)</td> </tr> <tr> <td>・デザレックス ※1</td> <td>0</td> <td>⇒</td> <td>10</td> <td>(+10)</td> <td>(-9)</td> </tr> <tr> <td>・キプレス</td> <td>441</td> <td>⇒</td> <td>327</td> <td>(-114)</td> <td>(+8)</td> </tr> <tr> <td>・ペンタサ</td> <td>161</td> <td>⇒</td> <td>155</td> <td>(-6)</td> <td>(0)</td> </tr> <tr> <td>・ムコダイン</td> <td>130</td> <td>⇒</td> <td>99</td> <td>(-31)</td> <td>(+2)</td> </tr> </table>		16.3実績	⇒	17.3実績			・フルティフォーム	72	⇒	101	(+29)	(0)	・ウリトス	75	⇒	75	(0)	(-1)	・デザレックス ※1	0	⇒	10	(+10)	(-9)	・キプレス	441	⇒	327	(-114)	(+8)	・ペンタサ	161	⇒	155	(-6)	(0)	・ムコダイン	130	⇒	99	(-31)	(+2)		
	16.3実績	⇒	17.3実績																																										
・フルティフォーム	72	⇒	101	(+29)	(0)																																								
・ウリトス	75	⇒	75	(0)	(-1)																																								
・デザレックス ※1	0	⇒	10	(+10)	(-9)																																								
・キプレス	441	⇒	327	(-114)	(+8)																																								
・ペンタサ	161	⇒	155	(-6)	(0)																																								
・ムコダイン	130	⇒	99	(-31)	(+2)																																								
	※1 2016年11月上市																																												
●海外新医薬品	8億円	(-48)	(0)																																										
	導出品一時金収入の反動減																																												
●後発医薬品	250億円	(+95)	(+9)																																										
	モンテルカストのAG発売、その他GEの売上も増加																																												
◆ヘルスケア事業	58億円	(+3)	(-1)																																										
■営業利益	104億円	(-92)	(+4)																																										
◆営業利益率は9.0%と前年比7.4ポイント低下																																													
●原価率：前年比4.5ポイント上昇 (39.6%⇒44.1%)																																													
	* 薬価改定(杏林製薬株:6%台後半)の影響、導出品一時金収入の反動減																																												
●研究開発費率：前年比0.9ポイント上昇 (10.9%⇒11.8%)																																													
	* 6億円増加(130億円⇒136億円)プロジェクト進展による増加(KRP-AM1977X、KRP-114V)																																												
●販管費率(R&D費を除く)：前年比2.1ポイント上昇 (33.0%⇒35.1%)																																													
	* 10億円増加(395億円⇒405億円)主に販売費、一般経費の増加																																												
■親会社株主に帰属する 当期純利益	73億円	(-63)	(+7)																																										
	* 特別損失：導出品(ガチフロキサシン点眼液)に関する訴訟の和解関連費用約10億円を計上																																												

2017年3月期 主要製品の売上状況

(単位:億円)

		13年3月期	14年3月期	15年3月期	16年3月期	17年3月期		18年3月期 (予想)
						実績	前同比(%)	
国内 新医薬品	フルティフォーム (喘息治療配合剤)	—	6	36	72	101	+39.0	120
	ウリトス (自社販売分) (過活動膀胱治療剤)	75	81	73	75	75	+0.1	76
	デザレックス (アレルギー性疾患治療薬)	—	—	—	—	10	—	35
	キプレス (気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤)	396	402	412	441	327	-25.9	210
	うち、キプレス小児用	146	146	145	154	149	-3.3	111
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	176	186	172	161	155	-3.9	156
	ムコダイン (気道粘液調整・粘膜正常化剤)	191	184	140	130	99	-24.1	83

後発 医薬品	モンテルカスト錠「KM」※ (気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤)	—	—	—	—	82	—	103
-----------	--------------------------------------	---	---	---	---	----	---	-----

※モンテルカストのオーソライズド・ジェネリック(AG)

一般用 医薬品	ミルトン (哺乳ビン・乳首消毒剤)	20	21	20	21	22	+2.8	21
------------	----------------------	----	----	----	----	----	------	----

研究開発費・設備投資・減価償却費の状況

(単位:百万円)

	13年3月期	14年3月期	15年3月期	16年3月期	17年3月期		18年3月期 (予想)
					実績	増減比	
研究開発費	11,059	11,359	13,514	13,019	13,569	+4.2%	12,600
設備投資	6,576	6,500	2,655	7,218	3,051	-57.73%	4,300
減価償却費	2,738	3,153	3,053	3,730	3,619	-2.96%	4,000

設備投資の詳細 (実績／予想)

(単位:億円)

	16年3月期 (実績)	17年3月期 (実績)	18年3月期 (予想)
工場設備	24	16	20
管理・販売設備	4	1	6
研究用設備	44	13	17

開発品一覧①(2017年5月11日現在)

PhⅢ ~承認

※:前回(2017年3月期 第3四半期 2月3日発表)からの変更点

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起 源	特 徴	備 考
国内	海外					
※申請準備中	【米国、欧州、他】 米国ルク社 :PhⅡ終了	KRP-114V	過活動膀胱	米国 ルク社	<ul style="list-style-type: none"> ・従来の過活動膀胱治療薬と比較して、副作用が少なく、服薬コンプライアンスが高まることが期待される ・β3受容体作動薬として、薬物相互作用が少ない ・本剤が分類されるβ3作動薬は、過活動膀胱治療におけるファーストラインとなる可能性がある 	米国ルク社とライセンス契約(14年7月) キッセイ薬品工業(株)と共同開発・共同販売に関する契約を締結(16年3月) ※米国ルク社とアジア地域におけるライセンス契約(17年4月)
※申請 (17年4月)		KRP-AM1977X (経口剤)	キノロン系合成抗菌剤	自社	75mg 1日1回投与で優れた臨床効果を確認(市中呼吸器感染症・耳鼻咽喉感染症) ・呼吸器、耳鼻科感染症の起炎菌、及びβラクタム系・マクロライド系抗菌薬耐性株に対して強力な抗菌活性を示す ・血漿比10倍を超える肺組織への良好な移行性 高い安全性が期待される ・同系統の抗菌剤で懸念される、血糖値異常、光線過敏症、関節障害、消化器症状などを引き起こす可能性は低い	
PhⅢ (16年3月)		KRP-AM1977Y (注射剤)	キノロン系合成抗菌剤	自社	75mg 1日1回投与で優れた臨床効果を確認(市中呼吸器感染症・耳鼻咽喉感染症) ・呼吸器、耳鼻科感染症の起炎菌、及びβラクタム系・マクロライド系抗菌薬耐性株に対して強力な抗菌活性を示す ・血漿比10倍を超える肺組織への良好な移行性 高い安全性が期待される ・同系統の抗菌剤で懸念される、血糖値異常、光線過敏症、関節障害、消化器症状などを引き起こす可能性は低い	
※PhⅢ (17年3月)		KRP-116D	間質性膀胱炎治療剤	—	医療上の必要性の高い未承認薬・適用外薬に該当する「ジメチルスルホキシド」	

・アレルギー性疾患治療剤「デザレックス錠5mg」: 16年11月発売

開発品一覧②(2017年5月11日現在)

POCプロジェクト(Ph I ~Ph II)

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
Ph II (再) (15年8月)	ルツ社 Ph III	KRP-209	耳鳴	ドイツ ルツ社	NMDA受容体拮抗作用及びニコチン作動性アセチルコリン受容体拮抗作用を有し、耳鳴に伴う心理的な苦痛、生活障害の改善が期待される	ルツ社とライセンス契約 (09年11月)
Ph I / II (15年7月)	【米国】桃太郎源株 : Ph I / II 前立腺がん(14年5月)	Ad-SGE-REIC	悪性胸膜中皮腫	岡山大学	岡山大学で発見された新規がん抑制遺伝子REICを使用する遺伝子治療薬。がん細胞選択的アポトーシスと抗がん免疫の活性化を誘導することが期待される	産学共同実用化開発事業[NexTEP]への採択 (14年6月)

開発品一覧③(2017年5月11日現在)

導出品の状況

開発段階／海外	製品名・ 開発コード	導出先	薬効	起源	特徴	備考
Ph I	KRP-203	スイス ノバルティス	移植片対宿主病 (GvHD)	自社	S1P受容体アゴニスト。免疫調節剤	ノバルティスとライセンス契約 (06年2月) GvHDでの開発集中を 決定(15年11月公表)
前臨床	—	米国 ブリストル・マイヤーズ スクイブ社	非開示	自社	FPR2作動薬。主に好中球の遊走を抑制し抗炎症作用を示す	BMS社とライセンス契約 (15年12月)

参考資料

2017年3月期 セグメント情報

報告セグメントごとの売上高および利益

(単位:億円)

	売上高		セグメント利益	
	金額	対前年	金額	対前年
合計	1,154	-41	104	-92
医療用医薬品事業計	1,096	-44	101	-95
◆新医薬品	845	-140		
○国内	838	-91		
○海外	8	-48		
◆後発医薬品	250	+95		
ヘルスケア事業計	58	+3	0	+2
調整額	—	—	3	+1

(注)2017年3月期 第1四半期連結累計期間より、当社グループは報告セグメントの区分を変更しております。
変更後の「医療用医薬品事業」の内容は新医薬品、後発医薬品、「ヘルスケア事業」はスキンケア・環境衛生・一般用医薬品他で構成しています。
また、前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

損益計算書の概要①

(単位:百万円)

<当期のポイント:対前年>

■ 売上高 115,373百万円 (-4,110百万円)

● 国内新医薬品 83,777百万円 (-9,143百万円)

	16.3実績	⇒	17.3実績	(億円)
・フルティフォーム	72	⇒	101	(+29)
・ウリトス	75	⇒	75	(0)
・デザレックス ※1	0	⇒	10	(+10)
・キプレス	441	⇒	327	(-114)
・ペンタサ	161	⇒	155	(-6)
・ムコダイン	130	⇒	99	(-31)

※1 2016年11月上市

● 海外新医薬品 764百万円 (-4,822百万円)

- ・導出品 (FPR2作動薬プログラム) の一時金収入の減少
- ・ガチフロキサシン 8 ⇒ 4 (-4)

● 後発医薬品 25,024百万円 (+9,559百万円)

- ・モンテルカストのAG発売、その他GEの売上也増加

● ヘルスケア事業 5,807百万円 (+295百万円)

	16年3月期		17年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	119,483	100.0%	115,373	100.0%	-3.4%	-4,110
医療用医薬品事業	113,970	95.4%	109,566	95.0%	-3.9%	-4,404
◆新医薬品	98,506	82.4%	84,542	73.3%	-14.2%	-13,964
○国内	92,920	77.8%	83,777	72.6%	-9.8%	-9,143
○海外	5,586	4.7%	764	0.7%	-86.3%	-4,822
◆後発医薬品	15,465	12.9%	25,024	21.7%	+61.8%	+9,559
ヘルスケア事業	5,512	4.6%	5,807	5.0%	+5.4%	+295

<連結子会社及び持分法適用会社について>

連結子会社7社: 杏林製薬(株)

Kyorin USA, Inc.

Kyorin Europe GmbH

ActivX Biosciences, Inc.

キョーリン リメディオ(株)

キョーリン メディカルサプライ(株)

キョーリン製薬グループ工場(株)

持分法適用会社1社: 日本理化学薬品(株)

損益計算書の概要②

(単位:百万円)

<当期のポイント：対前年>

	16年3月期		17年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	119,483	100.0%	115,373	100.0%	-3.4%	-4,110
売上原価	47,360	39.6%	50,847	44.1%	+7.4%	+3,487
売上総利益	72,122	60.4%	64,526	55.9%	-10.5%	-7,596
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	52,486 (13,019)	43.9% 10.9%	54,113 (13,569)	46.9% 11.8%	+3.1% +4.2%	+1,627 +550
営業利益	19,636	16.4%	10,413	9.0%	-47.0%	-9,223
営業外収益	531	0.4%	510	0.4%	-4.0%	-21
営業外費用	172	0.1%	49	0.0%	-71.5%	-123
経常利益	19,995	16.7%	10,874	9.4%	-45.6%	-9,121
特別利益	1,940	1.6%	48	0.0%	-97.5%	-1,892
特別損失	3,120	2.6%	1,205	1.0%	-61.4%	-1,915
税金等調整前 当期純利益	18,815	15.7%	9,716	8.4%	-48.4%	-9,099
法人税・住民税 及び事業税	5,191	4.3%	1,597	1.4%	-69.2%	-3,594
法人税等調整額	-15	-0.0%	814	0.7%	-	+829
親会社株主に帰属 する当期純利益	13,639	11.4%	7,305	6.3%	-46.4%	-6,334

◆原価率：前年比4.5ポイント上昇
(39.6%→44.1%)

* 薬価改定(杏林製薬:6%台後半)の影響
導出品(FPR2作動薬プログラム)一時金収入の反動減

◆研究開発費率：前年比0.9ポイント上昇
(10.9%→11.8%)

* 130億円→136億円(6億円増加)
プロジェクト進展による増加(KRP-AM1977X、KRP-114V)

◆販管費率(除くR&D費)：前年比2.1ポイント上昇
(33.0%→35.1%)

* 395億円→405億円(10億円増加)
主に販売費、一般経費の増加

■営業利益 10,413百万円 (-9,223百万円)

* 営業利益率は9.0%と7.4ポイント低下

■親会社株主に帰属する当期純利益

7,305百万円 (-6,334百万円)

特別損失：導出品(ガチフロキサシン点眼液)に関する訴訟の
和解関連費用約10億円を計上

■配当

58円00銭/株(うち、中間配当20円/株)、配当性向59.3%

貸借対照表の概要

(単位:百万円)

	16年3月期末	
	実績	構成比
流動資産	138,483	70.0%
現金及び預金	45,712	—
受取手形及び売掛金	48,296	
有価証券	5,989	
棚卸資産	27,665	
その他流動資産	10,818	
固定資産	59,342	30.0%
有形固定資産	22,788	—
無形固定資産	1,201	
投資その他	35,353	
資産合計	197,825	100.0%

流動負債	28,052	14.2%
支払手形及び買掛金	11,792	—
その他流動負債	16,259	
固定負債	12,723	6.4%
負債合計	40,776	20.6%
株主資本	149,808	75.7%
その他の包括利益累計額	7,241	3.7%
その他有価証券評価差額金	10,372	—
為替換算調整勘定	160	
退職給付に係る調整累計額	-3,292	
純資産合計	157,049	79.4%
負債及び純資産合計	197,825	100.0%

17年3月期末		
実績	構成比	前期末増減
126,267	65.5%	-12,216
43,619	—	—
46,192		
5,007		
24,379		
7,068		
66,400	34.5%	+7,058
22,432	—	—
1,204		
42,763		
192,668	100.0%	-5,157

25,033	13.0%	-3,019
11,157	—	—
13,875		
9,797	5.1%	-2,926
34,831	18.1%	-5,945
152,585	79.2%	+2,777
5,251	2.7%	-1,990
7,645	—	—
115		
-2,510		
157,837	81.9%	+788
192,668	100.0%	-5,157

<当期のポイント>

■ 流動資産：-12,216百万円

- ・現金及び預金の減少 (-2,093百万円)
- ・受取手形及び売掛金の減少 (-2,104百万円)
- ・有価証券の減少 (-982百万円)
- ・棚卸資産の減少 (-3,286百万円)

■ 固定資産：+7,058百万円

- ・有形固定資産の減少 (-356百万円)
- ・無形固定資産の増加 (+3百万円)
- ・投資その他の増加 (+7,410百万円)

■ 流動負債：-3,019百万円

- ・支払手形及び買掛金の減少 (-635百万円)
- ・その他流動負債の減少 (-2,384百万円)

■ 固定負債：-2,926百万円

主な業績項目の推移

(単位:百万円)	13年3月期	14年3月期	15年3月期	16年3月期	17年3月期	18年3月期 (予想)
売上高 (海外売上)	107,031 (2,400)	111,400 (1,849)	113,121 (1,032)	119,483 (5,586)	115,373 (764)	113,400 (3,300)
売上原価 (売上原価率)%	40,133 (37.5%)	43,047 (38.6%)	46,598 (41.2%)	47,360 (39.6%)	50,847 (44.1%)	—
販売費及び一般管理費 (販管費率)%	48,949 (45.7%)	50,744 (45.6%)	51,785 (45.8%)	52,486 (43.9%)	54,113 (46.9%)	—
うち研究開発費 (研究開発費率)%	11,059 (10.3%)	11,359 (10.2%)	13,514 (11.9%)	13,019 (10.9%)	13,569 (11.8%)	12,600 (11.1%)
営業利益 (営業利益率)%	17,948 (16.8%)	17,607 (15.8%)	14,737 (13.0%)	19,636 (16.4%)	10,413 (9.0%)	12,100 (10.7%)
経常利益 (経常利益率)%	18,676 (17.4%)	18,281 (16.4%)	15,490 (13.7%)	19,995 (16.7%)	10,874 (9.4%)	12,600 (11.1%)
当期純利益 (当期純利益率)%	12,422 (11.6%)	12,025 (10.8%)	12,064 (10.7%)	13,639 (11.4%)	7,305 (6.3%)	9,700 (8.6%)
一株当たり当期利益(円)	166.25円	160.95円	161.63円	184.28円	99.45円	131.94円
資本金	700	700	700	700	700	—
総資産	154,968	169,378	183,383	197,825	192,668	—
株主資本	126,985	135,273	140,518	149,808	152,585	—
純資産	129,099	137,821	148,600	157,049	157,837	—
一株当たり純資産(円)	1,727.86円	1,844.61円	2,009.45円	2,131.67円	2,146.83円	—
自己資本利益率%	10.0%	9.0%	8.4%	8.9%	4.6%	—
自己資本比率%	83.3%	81.4%	81.0%	79.4%	81.9%	—
人員(人)	2,444人	2,452人	2,445人	2,420人	2,382人	—
設備投資	6,576	6,500	2,655	7,218	3,051	4,300
減価償却費	2,738	3,153	3,053	3,730	3,619	4,000

2018年3月期 連結業績予想

(単位:百万円)

	17年3月期 (実績)	18年3月期 (予想)	対前年	
			増減額	増減率(%)
売上高	115,373	113,400	-1,973	-1.7
医療用医薬品事業	109,566	107,400	-2,166	-2.0
◆新医薬品	84,542	78,900	-5,642	-6.7
国内	83,777	75,500	-8,277	-9.9
海外	764	3,300	+2,536	+331.9
◆後発医薬品	25,024	28,500	+3,476	+13.9
ヘルスケア事業	5,807	5,900	+93	+1.6
営業利益	10,413	12,100	+1,687	+16.2
経常利益	10,874	12,600	+1,726	+15.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,305	9,700	+2,395	+32.8

損益計算書の概要：杏林製薬①

(単位：百万円)

<当期のポイント：対前年>

	16年3月期		17年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	106,390	100.0%	100,022	100.0%	-6.0%	-6,368
医療用医薬品事業	102,726	96.6%	96,109	96.1%	-6.4%	-6,617
◆新医薬品	95,847	90.1%	81,854	81.8%	-14.6%	-13,993
○国内	90,504	85.1%	81,326	81.3%	-10.1%	-9,178
○海外	5,343	5.0%	528	0.5%	-90.1%	-4,815
◆後発医薬品	6,878	6.5%	14,254	14.3%	+107.2%	+7,376
ヘルスケア事業	3,663	3.4%	3,912	3.9%	+6.8%	+249

■ 売上高 100,022百万円 (-6,368百万円)

● 国内新医薬品 81,326百万円 (-9,178百万円)

	16.3実績	⇒	17.3実績	(億円)
・フルティフォーム	72	⇒	101	(+ 29)
・ウリトス	75	⇒	75	(0)
・デザレックス ※1	0	⇒	10	(+ 10)
・キプレス	441	⇒	327	(-114)
・ペンタサ	161	⇒	155	(- 6)
・ムコダイン	130	⇒	99	(- 31)

※1 2016年11月上市

● 海外新医薬品 528百万円 (-4,815百万円)

・ガチフロキサシン	8	⇒	4	(-4)
-----------	---	---	---	-------

● 後発医薬品 14,254百万円 (+7,376百万円)

・モンテルカストのAG発売

● ヘルスケア事業 3,912百万円 (+249百万円)

・ミルトン	21	⇒	22	(+1)
-------	----	---	----	-------

・ルビスタ	8	⇒	10	(+2)
-------	---	---	----	-------

損益計算書の概要：杏林製薬一②

(単位：百万円)

	16年3月期		17年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	106,390	100.0%	100,022	100.0%	-6.0%	-6,368
売上原価	40,798	38.3%	43,503	43.5%	+6.6%	+2,705
売上総利益	65,591	61.7%	56,518	56.5%	-13.8%	-9,073
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	48,129 (12,421)	45.2% (11.7%)	49,714 (12,785)	49.7% (12.8%)	+3.3% +2.9%	+1,585 +364
営業利益	17,461	16.4%	6,803	6.8%	-61.0%	-10,658
営業外収益	652	0.6%	618	0.6%	-5.2%	-34
営業外費用	127	0.1%	25	0.0%	-80.3%	-102
経常利益	17,985	16.9%	7,396	7.4%	-58.9%	-10,589
特別利益	1,828	1.7%	44	0.0%	-97.6%	-1,784
特別損失	3,037	2.9%	1,181	1.2%	-61.1%	-1,856
税引前当期純利益	16,776	15.8%	6,259	6.3%	-62.7%	-10,517
法人税・住民税 及び事業税	4,600	4.3%	735	0.7%	-84.0%	-3,865
法人税等調整額	62	0.1%	1,069	1.1%	+1,624.2%	+1,007
当期純利益	12,113	11.4%	4,454	4.5%	-63.2%	-7,659

<当期のポイント>

- ◆原価率：前年比 5.2ポイント上昇
(38.3%→43.5%)
* 薬価改定(杏林製薬：6%台後半)の影響
導出品(FPR2作動薬プログラム)一時金収入の反動減
- ◆研究開発費率：前年比 1.1ポイント上昇
(11.7%→12.8%)
* 124億円→128億円(4億円増加)
プロジェクト進展による増加(KRP-AM1977X、KRP-114V)
- ◆販管費率(除くR&D費)：前年比3.3ポイント上昇
(33.6%→36.9%)
- 営業利益 6,803百万円 (-10,658百万円)
* 営業利益率は6.8%と9.6ポイント低下
- 当期純利益 4,454百万円 (-7,659百万円)

貸借対照表の概要：杏林製薬

(単位：百万円)

	16年3月期末	
	実績	構成比
流動資産	102,859	66.1%
現金及び預金	22,326	
売掛金	44,374	
有価証券	5,905	—
棚卸資産	21,774	
その他流動資産	8,477	
固定資産	52,778	33.9%
有形固定資産	14,866	
無形固定資産	486	—
投資その他	37,424	
資産合計	155,637	100.0%

17年3月期末		
実績	構成比	前期末増減
89,628	60.0%	−13,231
18,943		
41,269		
5,007	—	—
19,271		
5,136		
59,754	40.0%	+6,976
13,690		
631	—	—
45,432		
149,382	100.0%	−6,255

<当期のポイント>

■流動資産： −13,231百万円

- ・現金及び預金の減少 (−3,383百万円)
- ・売掛金の減少 (−3,105百万円)
- ・有価証券の減少 (−898百万円)
- ・棚卸資産の減少 (−2,503百万円)

■固定資産： +6,976百万円

- ・有形固定資産の減少 (−1,176百万円)
- ・無形固定資産の増加 (+145百万円)
- ・投資その他の増加 (+8,008百万円)

流動負債	20,102	12.9%
買掛金	7,673	
その他流動負債	12,428	—
固定負債	7,925	5.1%
負債合計	28,027	18.0%
株主資本	117,300	75.4%
評価・換算差額等	10,309	6.6%
純資産合計	127,610	82.0%
負債及び純資産合計	155,637	100.0%

17,876	12.0%	−2,226
8,546		
9,329	—	—
6,195	4.1%	−1,730
24,071	16.1%	−3,956
117,744	78.8%	+444
7,566	5.1%	−2,743
125,310	83.9%	−2,300
149,382	100.0%	−6,255

■流動負債： −2,226百万円

- ・買掛金の増加 (+873百万円)

■固定負債： −1,730百万円

主な業績項目の推移: 杏林製薬

(単位:百万円)	13年3月期	14年3月期	15年3月期	16年3月期	17年3月期	18年3月期 (予想)
売上高 (海外売上)	95,894 (2,277)	97,662 (1,650)	98,452 (840)	106,390 (5,343)	100,022 (528)	98,400 (3,100)
売上原価 (売上原価率)%	33,868 (35.3%)	35,119 (36.0%)	38,951 (39.6%)	40,798 (38.3%)	43,503 (43.5%)	—
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	44,898 (46.8%)	47,175 (48.3%)	47,349 (48.1%)	48,129 (45.2%)	49,714 (49.7%)	—
うち研究開発費 (研究開発费率)%	10,733 (11.2%)	11,064 (11.3%)	12,843 (13.0%)	12,421 (11.7%)	12,785 (12.8%)	11,300 (11.5%)
営業利益 (営業利益率)%	17,127 (17.9%)	15,368 (15.7%)	12,151 (12.3%)	17,461 (16.4%)	6,803 (6.8%)	8,700 (8.8%)
経常利益 (経常利益率)%	18,209 (19.0%)	16,230 (16.6%)	13,115 (13.3%)	17,985 (16.9%)	7,396 (7.4%)	9,200 (9.3%)
当期純利益 (当期純利益率)%	11,931 (12.4%)	10,823 (11.1%)	10,412 (10.6%)	12,113 (11.4%)	4,454 (4.5%)	6,800 (6.9%)
一株当たり当期利益(円)	160.66円	145.74円	140.20円	163.11円	59.98円	—
資本金	4,317	4,317	4,317	4,317	4,317	—
総資産	121,881	130,997	142,967	155,637	149,382	—
株主資本	100,586	106,211	110,534	117,300	117,744	—
純資産	102,844	109,606	118,246	127,610	125,310	—
一株当たり純資産(円)	1,384.77円	1,475.82円	1,592.16円	1,718.23円	1,687.28円	—
自己資本利益率%	11.6%	10.2%	9.1%	9.9%	3.5%	—
自己資本比率%	84.4%	83.7%	82.7%	82.0%	83.9%	—
人員(人)	1,797人	1,780人	1,771人	1,731人	1,687人	—
設備投資	1,507	4,763	1,125	5,059	905	1,600
減価償却費	1,743	1,743	1,667	2,241	2,143	2,000